

カナダ出張報告

平成 25 年 10 月 17 日

10 月 10 日から 13 日の日程でカナダを訪問しました。カナダ連邦政府のオリバー天然資源大臣、ブリティッシュ・コロンビア州のクラーク首相と会談を実施するとともに、シェールガス田を開発現場を視察しました。

1. 要人との会談

カナダ連邦政府のオリバー天然資源大臣、ブリティッシュ・コロンビア州のクラーク首相とエネルギー政策について協議を行い、日本とカナダの協力関係の一層の強化を図りました。

(1) オリバー天然資源大臣との会談・署名式・記者会見

オリバー天然資源大臣との会談では、今年 9 月 24 日に行われた安倍総理とハーパー首相との首脳会談での石油・天然ガス協力の強化に関する合意を踏まえ、カナダから日本への競争的な価格での LNG 供給の実現に向けた具体的な方策について協議しました。そして、両国間でのハイレベル政策協議の開始等を内容とする「石油・天然ガスに関する協力声明」に署名しました。協力声明を受け、早期に政策協議を開始する予定です。



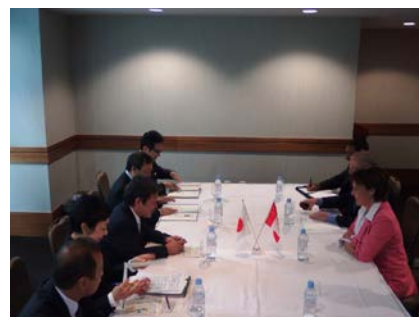
オリバー大臣との署名式



オリバー大臣との記者会見

(2) クラーク首相との会談

シェールガスの開発現場及びLNGの輸出基地となるブリティッシュ・コロンビア州のクラーク首相との会談では、カナダから競争的な価格でLNGの輸入を実現するため、LNG基地等のインフラ整備、迅速な許認可手続き、先住民問題等の解決すべき課題について協議を実施しました。クラーク首相も近々、訪日予定とのことでした。



クラーク首相との会談

2. 視察

会談を終えた後、カナディアン・ロッキーを越え、ブリティッシュ・コロンビア州モントニー地域のシェールガス田を訪問し、開発現場を視察しました。このガス田は、日本企業が参画するLNGプロジェクトであり、「LNGカナダ」プロジェクト（生産開始時期：2010年代末、生産規模：1,200万トン／年）の有力なガス供給源になる見込みです。

これからも燃料コストの低減と安定供給の観点から、エネルギー調達先の多角化を進めていきたいと思えます。



シェールガス田での視察